

社会的事象の意義について考える力を高める指導の工夫

—資料や事象の比較・関連付けを生かした「学び合い」活動を通して—

社会科班 高橋弘一 (小学校教諭)

児童の実態

- ・考えに自信がない
- ・考えを交流することが苦手である
- ・社会的事象の意義を捉えられていない



手立て

- ①複数の資料や社会的事象を比較・関連付けて考えるための工夫
 - ②学び合いの場の工夫
- 実践1 「武士の世の中」
実践2 「世界に歩み出した日本」

学習指導要領 国・県の動向

「考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく学習の充実を図る」

はばたく群馬の指導プラン
「比較・関連付けて考え、社会的事象の特色や意味を理解する」

手だて①比較・関連付けて考えるための工夫

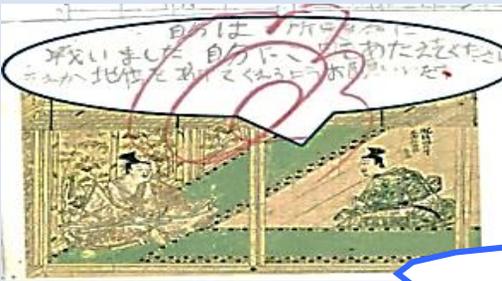
実践1

比較・関連付けて捉えるための資料の工夫～「蒙古襲来絵詞」



元と日本、1回目と2回目の違いが分かる資料

自分の考えを持つための工夫～ノート、吹き出し



実践2

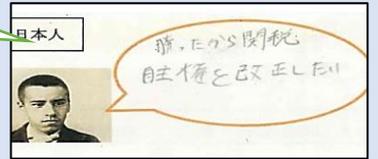
比較・関連付けて捉えるための資料の工夫～「日清・日露戦争の比較表」

日清戦争 1904-1905		日露戦争 1904-1905	
戦場	東アジア	戦場	東アジア
戦った国	日本と清国	戦った国	日本とロシア
戦った理由	清国の勢力拡大	戦った理由	ロシアの勢力拡大
戦った結果	日本の勝利	戦った結果	日本の勝利
戦った結果	清国の領土割譲	戦った結果	ロシアの領土割譲
戦った結果	清国の賠償金	戦った結果	ロシアの賠償金
戦った結果	清国の賠償金	戦った結果	ロシアの賠償金
戦った結果	清国の賠償金	戦った結果	ロシアの賠償金
戦った結果	清国の賠償金	戦った結果	ロシアの賠償金

表にすることで、より比較しやすくなる

自分の考えを持つための工夫～ワークシート、吹き出し

ワークシート、吹き出しで自分の考えを書きやすくなる



自分の考え

手だて②学び合いの場の工夫

実践1

グループ→ペア（隣同士）→全体



多様な考えが出され、いろいろな考えに気付く

隣同士で、元寇と幕府の弱体化について確認できた

実践2

グループ→ペア（異なるペアで3人以上）→全体

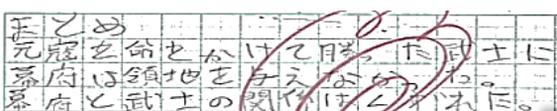


自信を持って学び合いができ、違う意見を取り入れられた

ペアを変えると特に意欲的。社会的事象の意義を考えられた

学び合いによる確かな考え

児童のまとめ



まとめ

二つの戦争によって、日本は強く知恵の国に変わった。...

社会的事象の意義について考える力が高まった児童

成果と課題

- 比較表にすることで共通点・相違点が捉えやすくなる。またワークシートや吹き出しは考えを書きやすい。
- 学び合いにより、違う考えに気付く、友達のことを書き込むなど、違う意見を取り入れ、考える力が高まった。
- ▲学び合いをした後、児童が自分の考えを練り上げる活動ができると、より考える力が高まる。